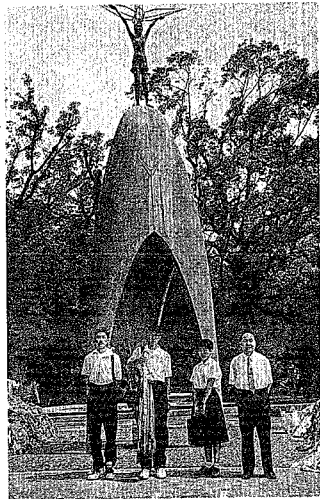




原爆の子の像の前で平和を誓う研修参加者



平和への願いを込めて——数えきれないほどの千羽鶴の山が平和記念公園のあちこちで見られます。

動物も家族の一員です。



診療時間

平日
AM 9:00～12:00
PM 1:00～3:00
PM 3:00～6:30
土曜日
AM 9:00～12:00
PM 1:00～3:00
日曜・祭日(予約)
AM 9:30～11:30

外来受付
手術時間
外来受付
外来受付
外来受付
外来受付
外来受付

案内

- 犬・猫・小鳥・小動物診療
- 内分科
- 皮膚科
- 犬 人工授精科
- 動物コンサルタント
- 処方食・フード
- グルーミング
- ホテル

小島動物病院 秋葉2丁目(秋葉公園入口) Phone 24-2223

広島で学び、感じたこと

金津中三年

乾 裕明



今回、新津市の非核平和と
研修により、世界で唯一原
爆が投下された二つの都市
の一つ、広島へ派遣される
ことがわかるまで、自分は、
核兵器の廃絶という問題を、
テレビや新聞などで盛んに
報じられているにもかかわらず、
一度も真剣に考えた
ことはありませんでした。

現に、最近起きた湾岸戦争
でも、戦争の状況が連日テ
レビで中継されましたが、
それを見ても、戦争の恐怖
や悲惨さを感じたというこ
とは全くなかったし、平和
や人命の尊さについて考え
たことはありませんでした。
かえって、認識の薄さ
からか、興味本位な感じで
見ていました。

派遣が決まってから、そ
の問題について注意して考
えるようになりました。さ
らに、広島に行き、原爆の
惨状を目で見たら、耳で聞

いた。最近起きた湾岸戦争
でも、戦争の状況が連日テ
レビで中継されましたが、
それを見ても、戦争の恐怖
や悲惨さを感じたというこ
とは全くなかったし、平和
や人命の尊さについて考え
たことはありませんでした。
かえって、認識の薄さ
からか、興味本位な感じで
見ていました。

爆の惨状や恐怖が深く心に
刻み込まれ、改めて核兵器
を廃絶し、二度と広島をし
て長崎の惨劇を繰り返さな
いようにしていかなければ
ならないと思いました。

平和を守りぬこうとする精
神は消えることはないだろ
う。そんなとき、初めて私
たちの研修の意義が表れた

爆の惨状や恐怖が深く心に
刻み込まれ、改めて核兵器
を廃絶し、二度と広島をし
て長崎の惨劇を繰り返さな
いようにしていかなければ
ならないと思いました。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。



皮膚がただれおち、さまよ
う人たちが(原爆資料館内の
被爆のまちなこり)



今井さん

研修の意義が表れるとき

小合中三年 今井あかね

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。

たのか？ 被爆地派遣で来
ていながら、思わず疑って
しまった。



この悲劇二度と繰り返さないために

中学生の平和研修作文を紹介——*

広島に原爆が投下されたのが今から四十七
年前。長い時間が経とうとその事実は変わら
ず、またその悲劇もなくなることはありません
。世界的に核軍縮の波が進められているに
もかわらず、さきごろの湾岸戦争のように
紛争は絶えず世界のどこかで続いています。
日本は世界で唯一の被爆国ですが、この過

ちを繰り返さないためにも、私たちは平和の
あり方を強く心に止め、再認識していかなけ
ればなりません。
市では平和の尊さを学ぶため、昨年度から
中学生の広島派遣を行っています。今号では、
この研修に参加した中学生の体験作文を紹介
します。

もう一つの大きな資料、原
爆ドームへ行ったら、

原爆ドームの周りも、ヒ
ロシマの街と同じく、悲劇
の面影は全くなかった。今
では、平和の象徴のハットが
たわわに、せみしぐれの中
で人々が休憩していた。
私たちが人々にまぎれ、
木かげに腰かけた。そして、
ドームを見上げる。

とどこどころくずれた色
あせたレンガの壁、鉄骨だ
けの丸い屋根、不自然に曲
がった、らせん階段らしき
形を残す鉄骨、風が通りぬ
ける四角い穴の窓。
確かに、四十七年たった
今、戦争の面影は消えかけ

お買物、ご用命は市内で

健康家族

薬

保険調剤・ツムラ漢方薬
生薬配合・ツムラ化粧品・ベビー用品
新津薬局
新津駅前本店 246311
おぎわ駅前店 246322

●あなたの安心を企画する●

有限会社 **樋口保険企画**

☎0250-22-6774 FAX0250-24-9110
〒956 新津市金沢町3丁目7番20号